

2015年1月期5月度 月次業績動向 (2014年4月21日～2014年5月20日)
会社名 ピープル株式会社

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヵ月累積期間の対比》		
	2014年1月期 5月度	2015年1月期 5月度	前年 同月比	13/1/21～ 13/5/20	14/1/21～ 14/5/20	前年 同期間比	12/5/21～ 13/5/20	13/5/21～ 14/5/20	前年 同期間比
売上高	224,617	219,749	97.8%	893,100	953,679	106.8%	2,954,711	3,320,851	112.4%
営業利益	△14,652	7,550	N/A	△45,165	69,902	N/A	102,128	239,664	234.7%
経常利益	16,584	12,450	75.1%	33,720	71,946	213.4%	184,472	236,295	128.1%
税引前利益	16,584	12,448	75.1%	33,720	71,936	213.3%	184,469	236,277	128.1%
流動資産	1,936,002	1,942,673	100.3%	【2015年1月期第2四半期会計期間 (2014/4/21～2014/7/20) 業績予想】 (2014年6月3日発表) ・売上高:7億12百万円 (前年同期間比0.5%増) ・営業損失:3百万円(－) ・経常損失:3百万円(－)			【2015年1月期第2四半期累計期間 (2014/1/21～2014/7/20) 業績予想】 (2014年6月3日発表) ・売上高:14億46百万円 (前年同期間比5.0%増) ・営業利益:60百万円(－) ・経常利益:57百万円(－)		
固定資産	160,292	187,368	116.9%						
流動負債	289,569	288,989	99.8%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,756,725	1,791,052	102.0%						
総資産	2,096,294	2,130,041	101.6%						

商品別売上高

商品カテゴリー名	2014年1月期 5月度	2015年1月期 5月度	当月 構成比	13/1/21～ 13/5/20	14/1/21～ 14/5/20	当期間 構成比	12/5/21～ 13/5/20	13/5/21～ 14/5/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	66,252	64,916	29.5%	295,202	320,712	33.6%	1,146,711	1,121,612	33.8%
女兒玩具	27,404	38,711	17.6%	157,097	182,046	19.1%	612,740	676,840	20.4%
遊具・乗り物	50,054	33,003	15.0%	190,190	175,047	18.4%	575,082	531,156	16.0%
その他	80,907	83,118	37.8%	250,611	275,875	28.8%	620,178	991,241	29.9%
合計	224,617	219,749	100.0%	893,100	953,679	100.0%	2,954,711	3,320,851	100.0%

5月度新発売商品

当月新発売した商品はありません。

当5月度におけるゴールデンウィーク商戦は、連続した休みが前半と後半に分かれた事から、玩具や自転車購入の集客に影響しました。前半で集客に苦戦し後半で取り戻す傾向は玩具、自転車、共通しており、客足含め押しなべて消費は不透明です。

そうした環境下、当社では、集客よりもむしろ玩具・自転車共に既存品のリニューアル発売が前月から翌月に渡り重なり、翌6月度以降に市場が整うまでの切り替え等の調整が当5月度の出荷額に影響し、売上高は2億20百万円、前年同月実績と比べ2.2%減と僅かに下回りました。

自転車部門では、前月4月度、値上げしリニューアル販売開始した「いきなり自転車 新3色」(各、税抜き23,800円)がGW商戦を挟み徐々に従来品と切り替えられている為、補充体制に影響し当月出荷数が前年同月比で大きく下回っています。

玩具部門においても、主力品「やりたい放題ビッグ版」や超定番足り乗用「公園レーサー」等が、翌6月度にリニューアルを控え流通段階で売れ減らし期間となりましたが、一方の愛情シリーズ等の新パッケージの切り替えでは、交換キャンペーンを打ち出した事で、想定を上回り新パッケージが前傾出荷されたため、他の売り減らしを補い玩具部門売上を前年以上に押し上げました。

尚、当5月度でベトナムにおける反中国デモ等が勃発し社会問題となりましたが、当社のベトナム製造工場には被害は無く、若干の商品入荷遅延等はありませんでしたが業績を左右する大きな影響はありませんでした。